



▲復元を祝い
「たくまちの歌」を
合唱する中部小児童



高取伊好翁の立像が復元

西溪公園で除幕式

高取伊好翁像が建立当時の立像に復元され5月3日、除幕式が行われました。多額の寄付を各地に行うなどの多大な貢献をした高取氏の徳をたたえて、像は村民や有志によって大正9年に建立されましたが、戦時中の銅供出によって胸像となっていました。地元で復元を望む声が高く、昨年6月高取伊好翁立像復元実行委員会（西山英徳会長）を立ち上げ、募金をつのり実現に至ったものです。

建立当時に作られた『高取翁銅像除幕式の歌』をコーラスいずみが歌う中、関係者9人によって除幕すると、高さ2.4m、重さ500kgのブロンズ製の銅像がお目見え。参加者から歓声と拍手がおこりました。四配の像を手掛けた彫刻家の田畑功さん（富山県高岡市）が制作。720万円の制作費は全額募金で賄われました。

感謝を込めて、みんなでお茶摘み

中部小全児童が体験！

中部小児童は5月17日、学校近くにある専称寺の茶畑で毎年恒例のお茶摘みを行い、地域の方々への感謝を込めて収穫しました。体験したのは、全児童186人。茶畑に入ると、嬉しそうな表情で新芽の味や香りを楽しんで「大変だけどたくさん摘んで地域の人にも喜んでほしい」と気持ちを込めて緑色の茶葉を丁寧に摘み取っていました。コンテナに集めた41.9kgの生茶葉は、孔子園製茶に運ばれ製茶。約3週間後に仕上がり、児童の家庭や地元の公民館をはじめお世話になっている方々にも贈ります。「おいしいお茶をみんなに飲んでほしい」と話し、新茶の仕上がりを楽しみにしていました。

今泉弘校長は、「管理と加工は孔子園製茶、茶摘みを陣内清春さんに指導して頂くなど地域の方々のご好意に支えられて体験できます」と感謝していました。



▲18班に分かれ、摘み取った茶摘み

楽しく元気に 多久市子どもクラブ大会

祝日の晴天の下、『第56回子どもクラブ大会』を市陸上競技場で開きました。市内16の子どもクラブの約400人が参加。ペタンクやドッチビー、ターゲットゲームなどニュースポーツを楽しんだり、クイズラリーに挑戦しました。また、㈱オニザキコーポレーションの55周年感謝イベントが行われ、風船リリースと全国55カ所に向けてクラシックカーが出発。子どもの日の楽しい思い出となりました。



5/5

緑が丘小の 環境保全活動が県表彰

緑が丘小（古賀一哉校長：252人）が、平成22年度佐賀県「ストップ温暖化」県民運動の功労者表彰を受けました。地区婦人会と一体となって校区内の清掃活動をしたり、PTA によるアルミ缶回収、児童によるプルタブの回収をするなど環境保全活動の功績が認められたものです。

古賀校長は「子どもたちは活動を通して地域のゴミについても意識を高めるようになった」と話しました。



3/28